

# 特別展「人形博覧会—土偶からリカちゃんまで—」

誰もが幼いころには人形で遊び、人形に囲まれて暮らした経験があることでしょう。おぶったり着替えさせたり、お供のように連れ歩き、悪者と戦ったり。そうすることが、たまらなく楽しい大切な時間でした。私たちは人形とともに育ったと言っても言い過ぎではないでしょう。

## 信仰と人形

人間にとって人形とはいったい何でしょうか。見て楽しみ、遊ぶための道具でもあります。昔は人形が信仰と深い関わりをもち、人形を用いて何かを祈ったり、願ったりしました。縄文時代の土偶は、子孫の繁栄や豊穡を願うためにつくられたと考えられています。木や紙で人の姿をかたどった人形、形代は、人間からケガレや悪いものを乗り移らせ、祓うためのもので、古代の遺跡からも見つっていますが、現在も神社のお祓いで用いられています。

## 祈りから愛玩へ

雛人形はケガレを移して川に流す「流し雛」がベースになっています。江戸時代に雛人形は次第に豪華となり、目を楽しませることが重視されるようになりました。この時代には人形の服を着せ替える、今日のような遊び方もすでに生まれています。しかし、人形の信仰的な意味はまったく消え去ったのではなく、各地の土人形は、おもちゃの一種でもあります。縁起をかついだり健康を祈る意味をもつ人形もあります。集落に疫病などの災いが入ってこないよう村境に立てる人形道祖神は、現在も一部の地域でつくられています。

## ドールワールドの拡張

近代になると工業が盛んになり、人形が大量に製造され、種類や楽しみ方も多種多様になりました。人形は、持ち主に着替えさせただけでなく、家を持ち、街に出かけるようになりました。マンガやアニメは多様なキャラクターのほか、人間のようにふるまうロボットや動物を生みだしました。大人の心も引きつける趣味の世界が生まれ、人形とのつきあい方は大きく変わりました。ドールワールドの拡張は、私たちの想像世界の拡張でもあります。土偶からリカちゃんに至るまで、人形は人間の想像力に刺激を与え、豊かな文化を生んできました。

### ◆主な展示資料

土偶／雛人形／八橋人形／中山人形／秋田のこけし／その他日本人形／リカちゃん人形等の着せ替え・衣裳人形／仮面ライダーなど特撮・アニメ等の人形／手作り人形／他

#### [交通案内]

- JR 奥羽線・男鹿線「追分駅」から徒歩 20 分
- バス 秋田中央交通「金足農業高校入口」から徒歩 15 分
- 自動車 秋田自動車道「昭和男鹿半島 IC」から 10 分・「秋田北 IC」から 15 分



形代



雛人形 女雛



中山人形



キュービー人形



縄文時代の土偶



人形道祖神 ショウキサマ



八橋人形 天神人形



リカちゃん人形



人形の家

